



埼玉県経営者協会
カザフスタン・ウズベキスタン
経済視察団

視察内容

※現在視察依頼中のため、視察先、内容が変更となる場合がございます。

アタメケン商工会議所

アタメケン商工会議所への企業視察訪問は、カザフスタンの多様で発展著しいビジネス現場を直接見聞できる機会です。アタメケンは、カザフスタン全土に20の地方商工会議所と188の支部を有し、同国経済の要となっており、国家レベルで企業活動や経済政策に積極的に関与しています。視察では、日本企業との交流を含め、現地の中小企業支援や投資誘致、スタートアップ育成、デジタルトランスフォーメーションの推進状況をお伝えいたします。また、エネルギー・資源、インフラ、物流、機械、農業など成長分野でのイノベーションや産業クラスター形成の状況を、現場担当者との意見交換を通じて生の情報として得ることができます。ビジネスプラットフォームや投資環境整備の進展、官民協調の仕組みへの理解も深まり、日本企業にとって新たなパートナーシップや進出機会の発掘に直結します。視察を通して、現地特有の課題や商習慣、市場参入のポイントも実感でき、単なるデータや報告書で得られない実践的な知識を得られる点が、他にはない大きな魅力です。グローバル展開や新市場開拓を目指す企業にとって、カザフスタンという成長市場の最前線を直接体験し、多様なビジネスヒントと人脈形成の場となります。

経済成長

政策

国際関係



レアアース関連企業

アルマトイでのレアアース関連視察は、現地資源の可能性を把握しつつ、日本との協力やビジネス展開のあり方を考える機会を提供致します。カザフスタン南東部に位置するアルマトイは、旧首都としての産業・学術集積に加え、周辺に希土類を含む各種鉱物資源プロジェクトや関連研究機関が存在しており、採掘前後の技術や政策動向をワンストップで把握しやすい環境です。現地では、探鉱・採鉱、選鉱・精錬プロセスに関わる企業や、環境影響評価・放射線管理を担う専門機関との意見交換を通じて、ESG要請を踏まえたサステナブルなサプライチェーンの実態を確認できます。また、アルマトイは中央アジアの物流・金融ハブとして、中国・ロシア・欧州を結ぶ交通網の要衝に位置しており、レアアースを含む鉱物資源の輸送ルート、コスト構造、経済特区や税制優遇といった制度面も現場で検証可能です。日本企業にとって、将来の共同探査や共同開発、技術提供などを具体的に進めるための情報を集め、現地パートナーとつながる場となり、新しいビジネス案件が生まれるきっかけになることでしょう。

資源

技術

国際関係



視察内容

※現在視察依頼中のため、視察先、内容が変更となる場合がございます。

アルマトイ市デジタル化局

カザフスタン最大の都市であるアルマトイ市において、行政・都市サービスのデジタル化を推進する中核的な自治体機関です。市民生活の利便性向上と都市運営の効率化を目的に設立され、行政手続きのオンライン化、スマートシティ化、ICTインフラの整備を包括的に担当しています。具体的な事業としては、電子政府（e-Gov）サービスの導入・拡張、市民ポータル「Smart Almaty」の運営、AIやIoTを活用した都市交通・防災・エネルギー・環境モニタリングのシステム整備などが挙げられます。これにより、行政サービスの迅速化や透明性の向上、交通渋滞や大気汚染といった都市課題の解決を図っています。また、スタートアップ企業や大学、IT企業との連携を強化し、データサイエンスやAI人材の育成、デジタルビジネス支援にも注力しています。さらに、市民参加型のアプリ開発やオープンデータの活用を通じ、公共と民間が協働する「共創型デジタル都市」を目指しています。同局はアルマトイ市を「中央アジアのスマートシティモデル」とするための推進母体として、国のデジタル政策「Digital Kazakhstan」とも連動し、持続可能で安全・効率的な都市の実現に向けて取り組んでいます。

DX/AI

政策

共創



天然ガス関連

ウズベキスタンの経済改革と市場開放の最前線を視察致します。JETROは2017年の為替自由化以降、日本企業のウズベキスタン進出を強力に支援しており、中堅・中小企業を中心に、現地での法務・税務・労務などの課題解決や、投資環境の最新情報を提供しています。視察では、JETROの専門家から現地ビジネス制度、労働法や外資導入の流れ、経済特区の利用方法など、実践的な情報を直接学ぶことができます。また、同事務所は中央アジア地域全体の日本企業支援拠点としても機能し、タシケントをハブにカザフスタン、キルギスなど近隣諸国の事業展開もサポートしています。そのため、本視察では単なる国別情報にとどまらず、中央アジア経済圏全体の市場動向を俯瞰し、今後の日本企業の連携可能性を探る視点も得られます。ウズベキスタンは人口3,600万人超の成長市場であり、農業機械、建設、繊維、エネルギー、ITなど各分野で日系企業への協力要請が高まっています。現地政府の外資受け入れやデジタル化政策も進展しており、視察を通じて現地産業団地の見学や現地パートナー企業との交流の場も得られます。アジア新興市場への理解を深め、国際ビジネス展開の新たな視座を得る絶好の機会となるでしょう。

資源

技術

国際関係



視察内容

※現在視察依頼中のため、視察先、内容が変更となる場合がございます。

ジャパンデジタルユニバーシティー（JDU）

タシケントのジャパンデジタルユニバーシティー（JDU）への企業視察は、ウズベキスタンと日本の経済・教育連携の最前線を体験できる貴重な機会です。JDUは2020年設立の正規大学で、日本語とIT教育を基盤とした人材育成をミッションとし、日本の複数の大学との提携により、日本とウズベキスタン双方の学士号を取得できるダブルディグリー制度を導入しています。このため、現地学生は日本語力・ITスキルを磨き、将来は日本国内外での活躍を目指しています。視察を通じて、キャンパスの最先端IT設備、日本語やデジタル技術教育の現場、両国の教職員によるサポート体制、そして最新のeラーニングやリモート学習環境など、実際の教育現場を直に見ることができます。ウズベキスタン政府が掲げる「IT立国」政策に基づき、JDUは人材育成と日本のIT企業との連携、オフショア開発拠点の形成を推進。現地訪問では、教育を通じた現地IT人材のレベルや就職支援の最新動向、日本企業による共同研究や採用活動の状況も把握できます。加えて、近代的なICTインフラとダイナミックな教育現場は、今後日本企業にとって現地連携やビジネス開発の具体的ヒントや成功事例を得られる絶好の視察先です。

人材育成

IT

国際関係



JETRO

ウズベキスタンの経済改革と市場開放の最前線を視察致します。JETROは2017年の為替自由化以降、日本企業のウズベキスタン進出を強力に支援しており、中堅・中小企業を中心に、現地での法務・税務・労務などの課題解決や、投資環境の最新情報を提供しています。視察では、JETROの専門家から現地ビジネス制度、労働法や外資導入の流れ、経済特区の利用方法など、実践的な情報を直接学ぶことができます。また、同事務所は中央アジア地域全体の日本企業支援拠点としても機能し、タシケントをハブにカザフスタン、キルギスなど近隣諸国の事業展開もサポートしています。そのため、本視察では単なる国別情報にとどまらず、中央アジア経済圏全体の市場動向を俯瞰し、今後の日本企業の連携可能性を探る視点も得られます。ウズベキスタンは人口3,600万人超の成長市場であり、農業機械、建設、繊維、エネルギー、ITなど各分野で日系企業への協力要請が高まっています。現地政府の外資受け入れやデジタル化政策も進展しており、視察を通じて現地産業団地の見学や現地パートナー企業との交流の場も得られます。アジア新興市場への理解を深め、国際ビジネス展開の新たな視座を得る絶好の機会となるでしょう。

海外進出

市場動向

国際関係



視察内容

※現在視察依頼中のため、視察先、内容が変更となる場合がございます。

サマルカンド 繊維又農業視察

サマルカンドでの繊維・農業産業視察は、ウズベキスタン経済の現在地と将来性を一度に把握できる点が大きな魅力です。綿花やシルクなどの繊維産業では、広大な綿花畠から紡績・縫製までの一貫したサプライチェーンを現場で確認でき、人権・労働環境の改善やサステナブル認証への取り組みなど、近年の改革の成果を肌で感じることができます。また、果樹・野菜栽培や灌漑農業など農業産業の視察を通じて、乾燥地ならではの生産技術、ポストハーベスト、加工・輸出向け物流の実情を学べる点も重要です。こうした視察は、日本企業にとって調達先の多角化や共同プロジェクトの可能性を検討するうえで有益であり、行政・企業・教育機関とのネットワーク構築にもつながります。

経済成長

産業

国際関係



タシケント・シティ・パーク視察

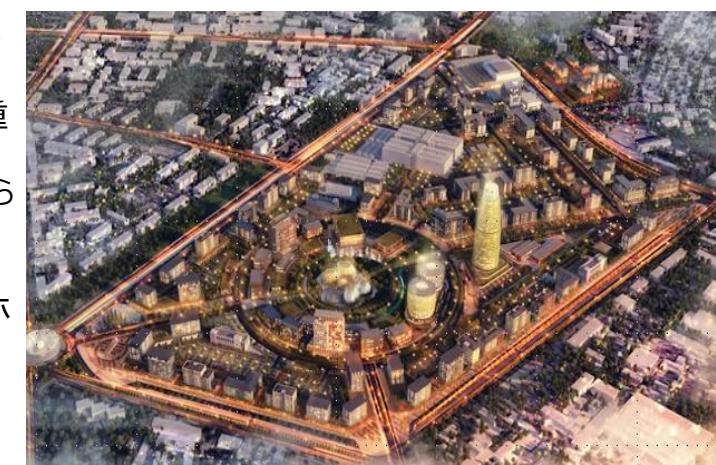
タシケントシティは、ウズベキスタンの首都タシケントの新たな都市開発エリアで、政府の都市近代化と経済活性化の一環として計画されました。旧市街の歴史的建造物を保護しつつ、新しい住居、商業施設、公共スペースを整備し、住民の生活の質向上を目指しています。都市の老朽化や人口増加による居住環境の悪化を解消し、環境や伝統を尊重した持続可能な都市づくりが求められたことが開発の背景です。2019年から本格的に開発が始まり、英国の都市デザイン会社Cross Worksが計画を担当。自然と調和しながら伝統を大切にし、市民と地域社会を繋ぐ豊かな都市空間の創出がコンセプトです。都市計画は既存のタシケントと統合され、新旧が共存する形で進められています。

タシケントシティには多様なレジャー施設や高級住宅、巨大ショッピングモール、国際的ホテルなどが揃い、経済成長の拠点としても期待されています。文化施設や公園も充実し、市民や観光客に開かれた快適な都市空間を提供しています。こうした新しい都市開発により、ウズベキスタンの首都としてのタシケントの魅力が一層高まっています。

経済成長

都市計画

観光



【ホテル情報】カザフスタン・アルマトイ

ダブルツリーbyヒルトン・アルマトイ

アルマトイ市中心部・イリ・アラタウ山脈の麓に位置するモダンなホテルです。明るくスタイリッシュな客室には最新設備と快適アメニティが揃っており、高級寝具やワークデスクも完備しています。屋内プールやトルコ式ハマム、フルサービススパも充実し、リフレッシュに最適です。ルーフトップレストランからは市街や雄大な山々を一望でき、24時間ルームサービスや無料Wi-Fiも提供されています。観光やビジネスのどちらにも便利なロケーションとホスピタリティが魅力です。



住所 : 115 Dosmukhamedov Street,
Almaty 050000, カザフスタン

電話番号 : +7 727 227 8888

最寄り駅 : 地下鉄バイコヌル駅から徒歩約5分

空港からの距離 : アルマトイ国際空港から約17km



ホテル周辺には複数のショッピングエリアやマーケットがあります。徒歩圏内にはスポーツ用品店「Megasport」や、カザフスタンを代表する伝統市場「ゼリヨンヌイバザール（Zelyony Bazaar/グリーンバザール）」があり、お土産や現地食品、雑貨の購入に便利です。また、市中心地のショッピングモール「TSUM（ツム）」もアクセスしやすく、ファッションや日用品、カフェが揃っています。

【ホテル情報】ウズベキスタン・タシケント

ロッテ シティ ホテルズ タシケント パレス

歴史とモダンが融合したウズベキスタン・タシケントのランドマーク的ホテルです。美しい庭園やプールを望むクラシックな外観と、スタイリッシュで快適な客室が魅力の一つです。朝食ビュッフェや多国籍レストラン、伝統ウズベキスタン料理も楽しめるダイニング施設を備え、観光・ビジネス双方に理想的な立地。市中心部の劇場やショッピングエリアへのアクセスも抜群で、空港からの移動もスムーズです。日本語対応スタッフもあり、きめ細やかなサービスが安心感を与えます。



住所：
56 Buyuk Turon Street, Tashkent,
100029, ウズベキスタン

電話番号：+998 71 120 58 00

最寄り駅：
地下鉄 ムスタキリク・マイダニ駅から徒歩約5分

空港からの距離：
タシケント国際空港から約5.3km、車で約15分

近くのショッピング情報：
ホテル周辺には歩行者専用ショッピングエリアや
カフェが点在しており、TSUM（ツム）デパートや
ショッピングセンターが徒歩10分圏内にあります。
また、ナヴォイ劇場に面した公園付近には
ギフトショップや伝統工芸品売場もあり、
観光・買い物に便利なロケーションです。

【ホテル情報】ウズベキスタン・サマルカンド

ヒルトンガーデン ホテル

新しく清潔感あふれるデザインが魅力のホテルです。客室には高級寝具やピロートップベッド、冷暖房、無料Wi-Fiが完備されており快適な滞在が叶います。敷地内にはレストランやラウンジ、ジム、スパ、プール、サウナがあり、アクティビティにもリラックスにも対応できます。朝食はビュッフェ形式で種類も豊富。サマルカンド駅や国際空港からタクシーで約15分とアクセスも良好で、主要観光地のレギスタン広場も車で10分程度。日本語スタッフも在籍し、細やかなサービスで外国人観光客にも人気です。



住所：
Al Fergani Street 7,
Samarkand 140130, ウズベキスタン

電話番号：
+998 66 236 71 00

最寄り駅：
サマルカンド鉄道駅から徒歩約10分

空港からの距離：
サマルカンド国際空港から約6km、車で約15分

近くのショッピング情報：
ホテル周辺には市内の市場や小規模店舗、土産物店が点在し、サマルカンド駅近くのショッピングセンターーや地元のバザールも徒歩圏内です。レギスタン広場周辺には観光客向けのショップが多くあり、手工芸品や伝統工芸、食料品を購入可能です。特に地元の工芸品や絨毯、陶器の店が充実しており、買い物と観光が合わせて楽しめます。

【交通】高速鉄道 アフラシアブ号

アフラシアブ号は、ウズベキスタンの首都タシケントと歴史都市サマルカンドを約2時間半で結ぶ高速鉄道です。スペインのタルゴ製の車両を使用し、最高速度は時速約250km。VIP、ビジネス、エコノミーの3クラス制で快適な乗車環境を提供します。列車名はサマルカンドにある古代遺跡アフラシアブに由来し、歴史と現代技術が融合した象徴的な存在です。観光やビジネスに便利で、ウズベキスタンの移動を大幅に効率化しました。



サマルカンド 市内観光

サマルカンド市内観光の最大の魅力は、古代シルクロードの交易拠点として栄えた歴史的・文化的遺産の豊富さにあります。特に「青の都」と称される背景には、**世界遺産登録の壮麗なレギスタン広場**があり、3つの壮大なイスラム神学校（マドラサ）が織りなす幾何学模様のタイル装飾の美しさは、訪れる人を圧倒します。昼夜で見せる表情が異なり、夜間のライトアップは幻想的な世界へ誘います。また、ティムール帝国の黄金期を象徴するグーリ・アミール廟や、イスラム世界最大級のビビ・ハニム・モスク、タイルが美しいシャー・イ・ズィンダ廟群など、まるで歴史絵巻の中を歩いているかのような感覚を味わえます。これらの建築物群はそれが独自の物語を持ち、歴史好きはもちろん、写真愛好家やスピリチュアルな旅人にも特におすすめです。



レギスタン広場は、サマルカンドの歴史の中心地で、「砂の場所」を意味します。15世紀、ティムール朝のウルグベクが最初のマドラサ（イスラム神学校）を建てて以来、広場は商業、政治、文化の拠点として栄えました。広場を囲むウルグベク・マドラサ、シェルドル・マドラサ、ティラカリ・マドラサは異なる時代に造られながらも統一感を持ち、美しい青色タイルで飾られています。シルクロードの交差点として、多くの交易商人や市民が集まった活気あふれる場所で、夜のライトアップも魅力的です。ユネスコ世界遺産に登録され、歴史と建築の美を体感できる名所です。



ビビハニムモスクは、15世紀初頭にティムール大帝が妻ビビハニムのために建てた壮大なモスクで、かつてイスラム世界最大級でした。高さ38メートルの威圧的な入口ポータルや、ターコイズブルーの美しいドーム、壁面を覆う緻密な青いタイル装飾が特徴です。大理石のコーラン台など歴史的な遺物もあり、建築美と宗教的な荘厳さが共存しています。サマルカンドの歴史とシルクロードの重要性を感じられる魅力的な観光名所です。

【カザフスタン】アルマトイ都市情報

英語名	ALMATY(EX.ALMA ATA)
プロフィール	シルクロードのオアシスとして栄えた地域で天山山脈の支脈アラウタウ山脈を臨む。1923年からカザフスタンの首都。1998年に首都がアスタナへ移転した後もビジネス・文化・教育の中心地となっている。
位置	カザフスタン南東部の州の州都。北緯43度19分、東経76度55分。
日本からのアクセス	日本からの直行便はないので、ソウル・北京・バンコク・イスタンブールなどで乗り継ぐ。
空港	アルマトイ空港(Almaty International Airport:ALA)から約18KM。市内までタクシー7,000テング。

● 渡航情報

・ 時差	
時差	西部（代表都市：アクタウ）：日本との時差は-4時間。カザフスタンの方が遅れている。サマータイムはない。中部（代表都市：オラル）：日本との時差は-4時間。カザフスタンの方が遅れている。サマータイムはない。東部（代表都市：アスタナ、アルマトイ）：日本との時差は-3時間。カザフスタンの方が遅れている。サマータイムはない。[2026年情報]
・ 観光査証および渡航認証	
要否	不要 30日以内の観光、業務等は査証不要。
備考	旅券の未使用査証欄は見開き2頁以上必要。入国時、出国用航空券の提示を求められる場合あり。海外旅行保険加入が望ましい。
残存有効期間	出国時6ヶ月以上必要。
・ 持込・持出制限	
持込制限・通貨	現地通貨:無制限(USD10,000以上相当申告要) 外貨:無制限(USD10,000以上相当申告要)
持込制限・その他	タバコ:200本または葉巻50本またはタバコ製品200g(18歳以上) 香水:適量(18歳以上) 土産品:EUR1500まで(個人使用のもの、50kg以内) その他:貴金属、コンピューター、ビデオ等の所持品は申告要 禁止品:反カザフスタン的写真、印刷物、麻薬、生きた動物、兵器、ポルノ
持出制限	現地通貨:無制限(USD10,000以上相当申告要) 外貨:無制限(USD10,000以上相当申告要) 禁止品:骨董品、芸術的・歴史的・学問的に重要な価値を持つ美術品



● 年間の気候

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温(°C)	-2	0	6	16	21	26	29	28	23	14	6	0
最低気温(°C)	-12	-10	-4	4	10	14	17	15	10	3	-4	-9
降水量(mm)	29	29	57	92	97	59	35	28	27	48	43	30
服装	D	D	C,D	B,C	B,C	A,B	A,B	B,C	B,D	D	D	D
備考												

*気温は°C、降水量はmm

*服装: A 夏服・半袖 B 薄手のセーター、カーディガン等 C 冬服・コート等 D 厚手のコート、手袋等の防寒具

● 交通機関

地下鉄の乗り方	1路線運行している。
地下鉄の料金	ONAYカードで支払う場合:80テング。現金:150テング。
バスの乗り方	市内を路線バスが運行している
バスの料金	ONAYカードで支払う場合:80テング。現金:150テング。
タクシー	流しのタクシーは少ないので、ホテルの前やタクシー乗り場で拾うのが賢明。



【ウズベキスタン】タシケント都市情報

英語名	TASHKENT
プロフィール	ウズベキスタン共和国の首都。天山山脈の麓、チルチク川流域のオアシスに人類が踏み入ったのは紀元前3000年前後。その後紀元前2世紀頃から東西交易のシリクロードの要地として栄えた都市。
位置	ウズベキスタンの首都・タシケント州の州都。シルダリヤ川の支流のチルチク川沿岸の標高430mに位置。北緯41度16分、東経69度16分。
日本からのアクセス	成田から直行便が運航している（週1便）。それ以外はソウルなどで乗り継ぐ。
空港	タシケント国際空港(TASHKENT AIRPORT:TAS)から7KM。

● 年間の気候

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温(°C)	10	10	18	21	29	32	39	35	29	24	11	9
最低気温(°C)	3	3	9	12	18	19	23	20	15	10	2	2
降水量(mm)	78	30	45	151	3	56	0	0	3	5	40	53
服装	D	C,D	C,D	B,C	A,C	A,B	A,B	A,C	B,C	C,D	C,D	C,D
備考												

※気温は°C、降水量はmm

※服装:A 夏服・半袖 B 薄手のセーター、カーディガン等 C 冬服・コート等 D 厚手のコート、手袋等の防寒具

● 渡航情報

・ 時差

時差	日本との時差は-4時間。ウズベキスタンの方が遅れている。サマータイムはない。[2026年情報]
----	---

・ 観光査証および渡航認証

要否	不要 30日以内の観光は査証不要。
備考	旅券の未使用査証欄は2頁以上必要。
残存有効期間	入国情6ヶ月以上必要。

・ 持込・持出制限

持込制限・通貨	外貨：無制限（申告要）
持込制限・その他	タバコ製品10箱（16才以上） 酒：アルコール製品2L（16才以上） 香水2本（16才以上） 土産品：USD1万相当（16才以上） 30g未満の宝飾品5個、キャンディー5kg（16歳以上）、その他の品USD1,000まで 禁止品：反ウズベキスタン的写真・印刷物、生きた動物、兵器類、麻薬、猥褻物、花火含む爆発物、ドローン等無人航空機
持出制限	外貨：入国情申告額（申告額を超える場合は合法的な両替証明要） 禁止品：宝石類・パール、骨董品、毛皮等

● 交通機関

地下鉄の乗り方	4路線が運行している。
地下鉄の料金	一律：3,000スム ATTOを利用する場合は1,700スム
地下鉄の注意事項	料金はOne Timeチケット、非接触型の交通カード(ATTO)やモバイルアプリで支払う。交通カード (ATTO)は郵便局や地下鉄の駅で購入できる。
バスの乗り方	市バスが運行している。
バスの料金	一律：3,000スム 交通カード (ATTO) を利用する場合は1,700スム
バスの注意事項	交通カード (ATTO) なら1時間以内のバスや地下鉄への乗り継ぎが割安になる。交通カード (ATTO)は郵便局などで購入できる。2025年1月から、乗車時の現金払いが不可となるので、事前にバス停周辺のキオスクなどで電子チケットを購入するか交通カードを利用する。
その他交通機関	マルシュルートカ（乗合ルートバス）もある。路線によって料金が異なる。

